

我等の生涯の最良の年（1946）

THE BEST YEARS OF OUR LIVES

メディア 映画
ジャンル ドラマ 戦争
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 170分
初公開日 1948/06/01
公開情報 セントラル

【解説】
戦争が終わってすぐ、こうした復員兵の重層的ドラマを作って、そこに多様なメッセージも込め得るアメリカ映画の度量には感心するとして、主人公を三人にまで絞ってなお三者のテーマの拡散が気になる、個々の物語を束ねる視点の欠如は指摘しておかねばならない。
それぞれに階級も軍歴も違う三人の復員兵が同じ故郷の町に帰ってくる。アル（マーチ）は昔通り、銀行の要職に迎えられるが、今度は退役者相手の融資担当で色々と悩みも多い。フレッド（アンドリュース）は軍務の他ついたことがなく、再就職がなかなか困難で、出征前に結婚したばかりの妻（メイヨ）は家出してナイトクラブで働いていた。若い水兵ホーマー（ラッセル）は戦傷で両腕を失くし、鉤のついた鉄の義手をはめて、恋人や周囲にコンプレックスを持つ。やがて、フレッドはアル夫妻（妻はM・ロイ）の娘（ライト）と恋仲になり、妻と離婚を決め、百貨店で働く。ホーマーも恋人と心から理解し合い、この二組が最後には共に結ばれる。
ホーマーの劣等感の持ち方がちょっとくどくど描かれすぎだし、フレッドと妻の関係は表層的に処理されすぎ。よいのはどうしてもアル一家の描写となり、ここはさすがにワイラー、手難いホーム・ドラマ演出で見せ場を要領よく作っていた。しかし、そこまでの作品である。アカデミー作品・監督・脚色・主演男優（F・マーチ）・助演男優（H・ラッセル）・編集・音楽賞受賞。

【クレジット】		
監督	ウィリアム・ワイラー	William Wyler
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
原作	マッキンレー・カンター	MacKinlay Kantor
脚本	ロバート・E・シャーウッド	Robert E. Sherwood
撮影	グレッグ・トーランド	Gregg Toland
編集	ダニエル・マンデル	Daniel Mandell
音楽監督	エミール・ニューマン	Emil Newman
音楽	ヒューゴ・フリードホーファー	Hugo Friedhofer
出演	フレドリック・マーチ	Fredric March アル・スティーヴンソン
	マーナ・ロイ	Myrna Loy ミリー・スティーヴンソン
	テレサ・ライト	Teresa Wright ベギー・スティーヴンソン
	ダナ・アンドリュース	Dana Andrews フレッド・デリー
	ヴァージニア・メイヨ	Virginia Mayo マリー・デリー
	キャシー・オドネル	Cathy O'Donnell ウィルマ・キャメロン
	ホーギー・カーマイケル	Hoagy Carmichael ブッチ・エングル
	ハロルド・ラッセル	Harold Russell ホーマー・パリッシュ
	ロマン・ボーン	Roman Bohnen パット・デリー

グラディス・ジョージ	Gladys George	ホーテンス・デリー
レイ・コリンズ	Ray Collins	ミルトン
ミナ・ゴンベル	Minna Gombell	パリッシュ夫人
ウォルター・ボールドウィン	Walter Baldwin	パリッシュ
スティーヴ・コ克蘭	Steve Cochran	クリフ
ドロシー・アダムス	Dorothy Adams	キャメロン夫人
ドン・ベドロー	Don Beddoe	キャメロン
チャールズ・ハルトン	Charles Halton	プリュー
レイ・ティール	Ray Teal	モレット
アースキン・サンフォード	Erskine Sanford	ビュラード